

治療の流儀



第2種高気圧酸素治療装置では8人が一斉に治療できる。治療時間は1時間半程度



40人の理学療法士、作業療法士がマン・ツー・マンでリハビリテーションを行う

「川寫式持続洗浄療法は、骨髄炎の代表的な治療法で、骨に穴をあけ、特殊装置であるチューブを入れて洗浄、殺菌します。1日3000ccを1〜2週間、点滴で持続的に行うというものです」とかわしまクリニックの田村裕昭所長は話す。骨髄炎は、骨に細菌が感染して、傷口から膿が出て治療が長期化してしまう病気だ。開放骨折などの外傷後や骨折の手術後の感染、あるいは歯周病な

どの別の部位の細菌が血液の流れに乗って骨に達して発症する血行性感染などが原因となる。骨髄炎は難治性疾患であるだけに、川寫式持続洗浄療法は、骨や関節にめ北海道から沖縄、さらには韓国やインドなどからも患者さんが来院するという。

社会医療法人 玄真堂

<http://kawashimahp.jp/>

川寫整形外科病院

大分県中津市宮夫17
(TEL) 0979-24-0464
(診察時間)
火・木・土 9:00~11:00 (予約制)



かわしまクリニック

大分県中津市宮夫11-1
(TEL) 0979-24-9855
(診察時間)
月~金 9:00~12:30 / 14:00~18:00
土 9:00~12:00
(休診日) 土午後、日、祝



地域に密着した医療を展開する川寫整形外科病院・かわしまクリニックは、創設者である川寫真人理事長が考案した川寫式持続洗浄療法と高

「川寫式持続洗浄療法は、骨髄炎の代表的な治療法で、骨に穴をあけ、特殊装置であるチューブを入れて洗浄、殺菌します。1日3000ccを1〜2週間、点滴で持続的に行うというものです」とかわしまクリニックの田村裕昭所長は話す。骨髄炎は、骨に細菌が感染して、傷口から膿が出て治療が長期化してしまう病気だ。開放骨折などの外傷後や骨折の手術後の感染、あるいは歯周病な

「高気圧酸素治療は、骨や関節にばい菌がつくとといった骨・関節感染症に対する有効な併用療法としてのみならず、糖尿病性などの治りにくい潰瘍の治療や、血行が悪くなる動脈閉塞症、足のしびれなどが出る脊髄神経の病気などに広く応用され、良好な治療成績が認められています」

高気圧酸素治療では、装置内の気圧を2〜3気圧上げること、体の中に通常の10〜15倍の酸素を供給することができる。これにより何らかの原因で血管が細くなつても、酸素量が増えるため白血球の殺菌作用が増強・活性化し、損傷組織の修復も促進

特殊チューブで骨髄炎を治す 川寫式持続洗浄療法



田村 裕昭 かわしまクリニック所長 川寫整形外科病院副総院長

たむら・ひろあき
1975年、鹿児島大学医学部卒業。同年、鹿児島市立病院。77年、三井記念病院。78年、九州労災病院。83年、川寫整形外科病院。2009年、川寫整形外科病院院長。14年、かわしまクリニック所長。大分大学医学部臨床教授、日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本医師会認定産業医



2014年8月にオープンした「かわしまメモリアルミュージアム」では、医療を中心とした貴重な資料の数々が展示されている

気圧酸素治療で全国的に広く知られている。

高気圧酸素治療で 自然治癒力を高める

「医療は、自分の治る力をいかに引き出すかが中心になります。人間の治る力を促進して、自然治癒力を高める。その方向付けをするのが私たちの役目だと思っています」と田村所長は自然治癒力の大切さを説いた。

全国的に知られる川寫式持続洗浄療法と高気圧酸素治療で 骨・関節感染症などの難治性疾患の患者さんを支える